



岐阜県から参加したみどりの少年団

「第36回東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」を開催しました

東海三県のみどりの少年団が一堂に集い、自然の中で緑の大切さを学び、交流を深めることを目的とした「みどりの少年団サマージャンボリー」(国土緑化推進機構、三菱UFJ環境財団及び愛知県・三重県・岐阜県の各緑化推進委員会主催)を、8月3日(水)から8月5日(金)まで2泊3日の日程で、岐阜市少年自然の家において開催しました。

愛知、三重、岐阜の14団91名のみどりの少年団に、今年は、「国際森林年」の子ども大使として活躍している東京の子どもミュージカル劇団「葉っぱのフレディ」の21名が特別に加わり、112名という大勢の参加となりました。

森林環境学習では、森林が美しい川を育み、海を豊かにするメカニズムを学び、自然体験活動では武儀川の水生動物の採取を行いました。子供たちは透き通った川の美しさ、水生動物の数と種類の多さに驚きながら夢中になって採取をしていました。また、川と親しむ活動では大声を張り上げながらゴムボートによる川下りを楽しみました。

そのほか野外炊飯、キャンプファイヤー、野草のしおり作り、ミュージカルソング鑑賞などの盛りだくさんの活動をこなしました。特に「葉っぱのフレディ」のみなさんによるミュージカルソングの鑑賞では、洗練された歌と踊りに、みどりの少年団の子どもたちは大きな感動と刺激を受けたようでした。【(社)岐阜県緑化推進委員会 専務理事 佐藤正吉】



▲夢中になって水生動物を採取する子供たち



▲ゴムボートでの川下り



▲葉っぱのフレディによるミュージカル鑑賞



▲楽しいキャンプファイヤー

「岐阜県みどりの少年団交流集会」を開催しました

8月10日(水)、関市小屋名の岐阜県博物館において「平成23年度岐阜県みどりの少年団交流集会」を、県内のみどりの少年団9団体70名(引率者含む)の参加を得て開催しました。

午前中に行われた「みどりの少年団活動発表」では、久瀬みどりの少年団、牧谷小みどりの少年団、多良峡もみじ少年団の発表及び、昨年度最優秀に選ばれた牛道小学校みどりの少年団の特別発表が行われ、これまで取組んできた緑を守る活動、緑を育てる活動、その他環境活動などについて、パワーポイントを使って、実物の樹木の枝を持ち込むなど工夫を凝らして発表してくれました。

審査の結果は、審査委員長の今井猛関市立下有知小学校長から講評の後で発表され、今年度の最優秀には牧谷小みどりの少年団(美濃市)が選ばれました。

なお、午後からの交流活動では、当博物館で企画展として開催されている「昆虫の世界～色と形の不思議～」や常設の恐竜展について学芸員の方から説明を受けました。

また、百年公園内の森の中に入り、人工林や里山林などの特徴について感じたことや調べたことを発表したり、学芸員の方から説明を受けたりしながら、有意義な夏休みの日を過ごしました。

【(社)岐阜県緑化推進委員会 専務理事 佐藤正吉】



▲参加したみどりの少年団のみなさん



◀活動発表の様子

各少年団との楽しい交流がいっぱいあったよ!

▶百年公園内で森を観察する子供たち



▲岐阜県博物館で恐竜のお話を聞く子供たち